

蔵迫高架橋(上部工)工事

Construction of KURASAKO Bridge

川田建設(株)・大阪支店

1. 工事紹介

蔵迫高架橋は、中国横断自動車道広島浜田線の千代田インターチェンジ付近に位置する、国道261号をまたぐ6径間連続PC箱桁橋であり、FCC工法で架設される(図-1参照)。

2. 主要諸元

形式：PC 6 径間連続ラーメン箱桁
橋格：1等橋(TL-20, TT-43)
橋長：426m
支間：59.4+4 @76.5+59.4m
有効幅員：9m
平面線形：最小曲線半径1400m
架設工法：張出し架設工法(FCC工法)

3. 施工概要

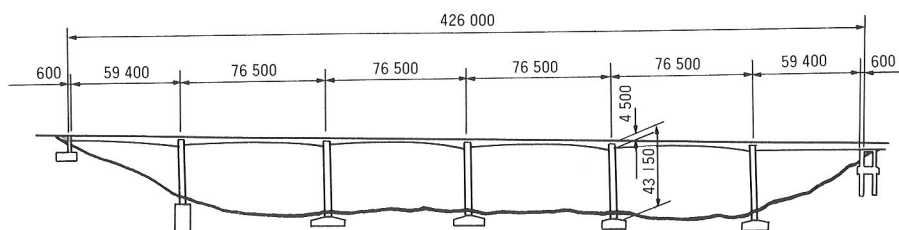
わが社におけるFCC工法の施工例は、現在架設中のものを含め、すでに20橋以上に及んでおり、わが国全体としては本橋が48橋目の施工となる。

(1) 柱頭部施工

柱頭部はブラケットによる支保工施工で行う。柱頭部のコンクリート打設は2回打ち施工し、第1回目は下床版とウェブを施工し、第2回目は支保工により上床版の打設を行う。

(2) トラベラーの組立

ここで使用されるトラベラーは、200 t・mタイプの中型である。



(a) 側面図

図-1 一般図

トラベラーは主構トラスを主体に組み立て、地上40mの高さでクレーンにより橋面のアンカーに固定される。

本橋の柱頭部長さは12.0mあるので、2基のトラベラーを同時に設置することができ、第1ブロックの同時施工が可能である(図-2参照)。

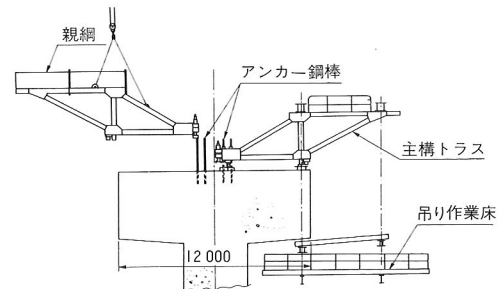


図-2 トラベラーの組立

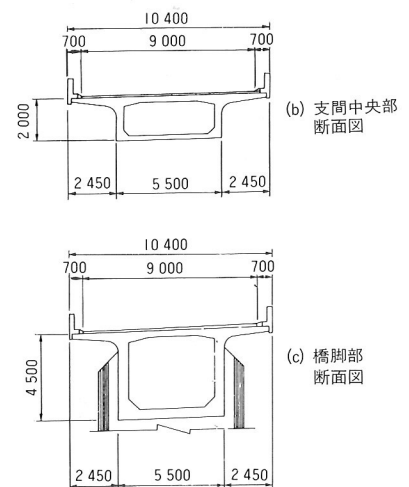
4. 工事工程

全体工期は平成2年3月から平成3年10月までである。トラベラーは6基使用し、張出し完了後トラベラーを解体し、転用するものとする。

本橋の施工ブロック数は92個で、表-1に示すように1ブロック11日サイクルで施工する計画である。

表-1 張出し部サイクル工程

項目	日数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
プレストレッシング												
トラベラー移動据え付け												
下床版、腹板鉄筋												
シー ス 組 立												
内 型 枠 組 立												
上 床 版 鉄 筋												
小 口 型 枠 設 置												
コンクリート打設												
養生工												
P C 鋼 線 挿 入												
緊張準備												



(文責・上田幸雄)